

Molhos Marutti: para cada receita, um molho especial.



MARUITI  
www.marutti.com.br

DIRETOR PRESIDENTE  
RAUL M. TAKAKI

JORNALISTA RESPONSÁVEL  
TAKAO MIYAGUI

# ニッケイ新聞

NIKKEY SHIMBUN

Rua da Glória, 332 - CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Tel. (11) 3340-6060 - www.nikkeishimbun.com.br

国内 海外 引越の日通

通 11-3583-3882

ANO XX - Nº 4882 SÃO PAULO, SÁBADO, 18 DE NOVEMBRO DE 2017 R\$ 4,00

## 改憲議論前進呼び掛け

### 首相「与野党の枠超え」 所信表明、防衛力強化

【共同】安倍首相は17日、特別国会での首相指名を受けた第4次安倍内閣発足を踏まえ、衆参両院の本会議で所信表明演説を行った。憲法改正に向け、議論前進への意欲を強調。改憲を含め「与野党の枠を超えて、建設的な議論を行い、共に進んでいこう」と呼び掛けた。核・ミサイル開発を進める北朝鮮の挑発激化に備え、ミサイル防衛体制など防衛力の強化を打ち出し、教育無償化への決意も表明した。



衆院本会議で所信表明演説を行う安倍首相=17日午後(共同)

週明けの20日に衆院で所信表明に対する各党の代表質問が始まり、議論が本格化する。首相は森友、加計学園問題を巡る野党の批判をかわし、今国会での帯引きを狙う。改憲については、10月の衆院選で安倍政権下での実現に前向きな「改憲勢力」が国会発議に必要な三分の二以上の議席を確保。首相は来年1月召集の通常国会での自民党改憲案提示をにらみ、党内議論や公明党との調整を促進したい考えだ。首相は演説で、さまざまな政策での与野党論戦について「互いに知恵を出し合い、共に困難な課題に答えを出していく」という姿勢を示した。改憲については、10月の衆院選で安倍政権下での実現に前向きな「改憲勢力」が国会発議に必要な三分の二以上の議席を確保。首相は来年1月召集の通常国会での自民党改憲案提示をにらみ、党内議論や公明党との調整を促進したい考えだ。首相は演説で、さまざまな政策での与野党論戦について「互いに知恵を出し合い、共に困難な課題に答えを出していく」という姿勢を示した。

### 日産無資格検査38年前から

#### 栃木工場、国交省に報告

【共同】日産自動車は17日、新車の無資格検査問題と再発防止策をまとめた報告書を国土交通省に提出した。38年前の1979年から栃木工場(栃木県上三川町)で行っていた可能性があり、正規検査員の不足と規範意識の薄さが原因と結論づけた。横浜市の本社で記者会見した西川広人社長は謝罪し、自身の月額報酬の一部を自主返上したと説明したが、進退に関する責任の取り方を否定した。西川氏は不正に関し、虚偽報告や妨害があったと判断されると2億円で罰金の科せられる。国土交通省の奥田哲也自動車局長は西川氏に「由々しき事態だ」と懸念を伝えた。報告書によると、無資格検査は90年代には常態化していた。主力の追浜工場(神奈川県須賀川市)では、昨年の小型車業務が繁忙化したことによる工場への立ち入り検査では、事実と異なる説明や関係資料の一部削除などの隠蔽行為があった。正規検査員になる試験に配布する不正もあつた。西川氏は一部報酬の自主返上を10月から来年3月まで続ける。具体的な金額は明らかにしなかった。問題の検証は弁護士でつくる第三者チームに依頼。西川氏を含む役員12人と、検査業務に関する役員ら490人に聞き取りを実施した。



報告書の提出を記者会見で説明する日産自動車社長西川広人(左)と、検査業務に関する役員ら490人に聞き取りを実施した。

### 原因は人手不足、低い意識

検査問題の報告書で、無資格検査に提出した不正な検査結果を隠蔽したとして、検査業務に関する役員ら490人に聞き取りを実施した。



Hawaií

Destino perfeito para quem gosta de calor, praias e surf. As famosas praias paradisíacas do Havaí esperam por você.

Consulte-nos para saber mais!

1949 TUNIBRA TRAVEL renovando e realizando suas viagens!

Informações e Reservas: (11) 3346-8200  
www.tunibra.com.br | tunibra@tunibra.com.br

\*Traga esse anúncio e ganhe um brinde no fechamento da sua viagem conosco.



willfon主権

美川憲一  
チャリティーコンサート決定!!

2018年5月13日(日) 日本文化福祉協会大講堂

ブラジル日本移民110周年の記念事業として正式に認可されました。

110 Anos da Imigração Japonesa no Brasil  
ブラジル日本移民百周年

willfon株式会社

製品の問い合わせは J-VISION まで Tel:(11) 3203-0205 e-Mail: jvision2016sp@gmail.com

神戸港のメリケンパークに立てられたアスナロの巨木は17日午前...

【共同】神戸市に巨大クリスマスツリーを立て、阪神大震災からの復興や再生のシンボルとして、アスナロの巨木が17日、展示場所である神戸港のメリケンパークに立てられた。鉄製の大きな鉢に据え付けられると、見守った市民から拍手が上がった。アスナロは10月に富山県水見市で根から掘り出され、高さ約30メートル。今月13日に神戸港のポートアイランドに到着し、運搬のために折り曲げた枝を広げる準備作業をした。メリケンパークに船で運ばれ、午前9時半ごろ八角形の鉢に入った。クリスマスツリーは世界的な注目を集める米ニューヨーク、ロックフェラーセンターのツリーを超える高さ世界一を目指す。12月2日から26日まで点灯される。

第二十三回ブラジル紅白歌合戦  
23º BRASIL KOHAKU UTAGASSEN

Edição pré - comemorativa dos 110 Anos da Imigração Japonesa no Brasil

110 Anos da Imigração Japonesa no Brasil  
ブラジル日本移民百周年

ENTRADA 1 KG DE ALIMENTO NÃO PERECÍVEL Não Compulsório

Musica ao Vivo NAK BAND

Realização: INSTITUTO NAK DO BRASIL - INB  
Apoio: Consulado Geral do Japão em São Paulo  
Data: 03 de dezembro de 2017 - Início: 9h00  
Local: BUNKYO - Sociedade Brasileira de Cultura Japonesa e de Assistência Social  
Endereço: Rua São Joaquim, 381, Liberdade, São Paulo, SP

ご契約者様ペアでご招待

美川憲一  
チャリティーコンサート  
ブラジル日本文化福祉協会大講堂

2018年5月13日

世界中通話無料のTV電話  
日本のテレビが見られる!! 46局  
NHK、民放、BS、CS放送  
LIVE & 2週間前までの番組を視聴可能  
インターネットにつなぐだけ!!

willfon M willfon K willfon S

お問い合わせは Tel:(11) 3203-0205 e-Mail:jvision2016sp@gmail.com Rua Galvão Bueno, 412 Conj.58/59 Liberdade-São Paulo-SP

# ROTA 2030 来年からの実施を先送りか

## EUとの交渉に配慮？

### 国内自動車業界の要請も

連邦政府は16日、今年末で期限が切れる国内自動車産業活性化計画、Inovar-Auto (I計画)に代わり、来年から導入される予定だったRota2030 (R計画)の実施を、南米共同市場(メルコスール)と欧州連合(EU)との間で進行している通商交渉の締結まで先送りする意向を示した。17日付フォーリア紙が報じた。

### 「財相が反対する」と暗喩

今年12月31日に期限切れとなるI計画は、国産車と輸入車の間に工業製品税(IPI)の税率を引き上げたりしている。EUや日本は同計画導入後から、この政策は国内産業保護政策で、国際的に禁じられている保護貿易に当たるとして、世界貿易機構(WTO)に訴えていた。WTOは8月にEUなどの言い分を認め、伯国に制裁を課した。



テメル大統領 (Marcos Corrêa/PR)

これを認め、立案されたのがR計画だ。同計画では、国産車と輸入車に課すIPIを一律10%ポイント上げた上、燃費や安全性の高さ、調査・開発のための投資といった基準を満たした企業には、最大10年間、IPI減額を認める予定だ。ただそれでは、伯国内に生産拠点を移す企業は、IPI減額を認めない。業界はI計画で行

P1減額のための諸条件を満たす事が出来ず、伯国内での自動車販売において、伯国企業との競争で不利を及ぼすため、EUとの新たな火種となりかねない。伯国政府が懸念するのは、R計画はI計画の焼き直しと解釈されれば、メルコスールとEUの通商交渉を阻害する要因になりかねないという関係者もいる。

本頁でも報じた元リオ州知事のセルジオ・カブラル被告は、この1年で最も報じられることになった政治家の一人だ。ルラ政権末期の好景気が、伯国に権威の日本が、バブル経済時代に譲えられ、今

となつては、同氏の存在は、資金洗浄で共犯して逮捕されたかつての世界長者番付上位の大富豪、エイケ・パチスタ氏と共に、あの時代の悪い象徴となつていく観も否めない。それにしても、これまでにも、この2人が、ルラ政権末期の好景気が、伯国に権威の日本が、バブル経済時代に譲えられ、今

所属する新党ボデーモスに移籍する。上院議員も上りつめた口で、リオ州知事、来年の選挙で有力視されている。州議2期目のベベットには、あるためだ。とりわけ、9月以降は3ヶ月連続でそれが起きている。今のうちから3連休をフル活用するの、一つの手だ。

強盗犯を追跡していた警察は、容疑者の車と、イヴァニセさんを乗せ、彼女のパートナーが運転していた車とを混同し、射撃。車は少なくとも20人自身も首筋に弾を受けた。イヴァニセさんは、その途上で帰らぬ人となった。

## 10年間で死者25%増加

### 医療の発達や高齢化を反映

伯国地理統計院(IBGE)が14日、2016年の死者数は、2006年の101万9393人と比べて24.7%増えたと発表した。これは、医療の進歩や予防接種の拡大、衛生状態改善などの実と見られる。

他方、1976年は死者全体の29.1%のみだった65歳以上の死者の数は、2006年以降は50%を下らなくなった。2016年には58.5%に及び、伯国でも高齢化が進んでいる。男性と女性の死亡率を比べると、女性の死亡率は常に女性より高い。特に差が出るのは若い人達で、殺人や交通事故、水死、転落死といった外的要因による死に限定すると、20歳の男性が25歳になる前に死ぬ可能性は、20歳の女性に比べて1.1倍も高い。1976年の割合は4.6倍だったから、この数値は40年間で141.3%も上昇している。

9月に聖市サンミゲル・パウリスタで起きた幼女2人の殺害事件に関する、犠牲者の叔父が殺害に関与した疑いが16日に判明した。17日付伯字紙が報じている。

## リオ州汚職 多量元知事実刑300年？

### 逮捕から1年、約4億レ収賄

17日、リオ州元知事のセルジオ・カブラル被告(民主運動党・PMDB)が逮捕されて丸1年が経過した。伯国政治家史上、最大級の汚職犯罪を起したと目される。同氏の罪状を17日付フォーリア紙の記事に基づいて振り返る。

容疑などで逮捕された。その時の容疑は14年のW杯のためのマラカナン・スタジアム改修工事などに絡むもので、その後も、リオ州石油化学コンビナート(Comerj)建設事業絡みの収賄など、数々の疑惑が噴出した。

判決を受ければ、実刑判決の合計は300年は下らないという。2007年から14年4月まで州知事をつとめたカブラル氏が、定期的に、W杯やリオ五輪に關した都市化計画に伴う事業での収賄が目立つ。取賄額が最も多かったのは、バス会社からなるリオ州乗客輸送会社連盟(フエトランスポール)による1億2280万レアルの収賄だ。

また、リオを代表したかつての大富豪エイケ・パチスタ氏の資金洗浄計画では5500万レアルを受け取っている。同氏への賄賂は3億1850万レアルが国外の隠し口座に送られた。1100万レアルが宝石、970万レアルが不動産に形を変えていた。同氏の妻と弁護士のアドリアナ・アンセルモ氏も架空請求書の作成に携わっており、判明しているだけで830万レアル分の不正請求がある。

また、市警は16日、容疑者の一人、唯一犯行を自供したマルセロ・ベレイラ・デ・ソウザ容疑者を同伴し、殺害の現場再現作業を行った。

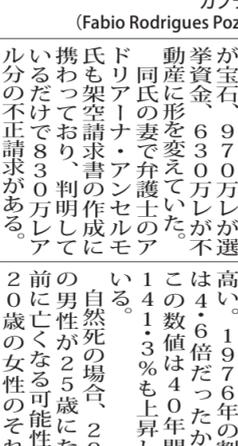
## W杯と五輪工事を悪用

2016年11月17日に行われた、ラウア・ジャット作戦第37弾のカルカッタ作戦で、収賄

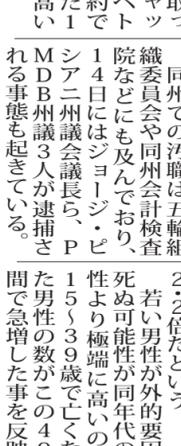
マラカナン・スタジアム改修やフアヴェーラ改善のための経済活性化計画(PAC)、高速道路建設、地下鉄4号線計画などでは、ゼネコ企業から契約金の5%の手数料

料を賄賂として受け取っていた。ラウア・ジャット作戦で判明した、ペトロボラス絡み事業契約で、各政党が受け取った13%と比較しても高い手数料だ。

また、市警は16日、容疑者の一人、唯一犯行を自供したマルセロ・ベレイラ・デ・ソウザ容疑者を同伴し、殺害の現場再現作業を行った。



カブラル被告 (Fabio Rodrigues Pozzebom/ Agência Brasil)



カブラル被告 (Fabio Rodrigues Pozzebom/ Agência Brasil)

美しい自然のままの島 イー・ヤ グランテ!!

新年の1月21日~1月24日に... 島に行ってみませんか?

宿所: ポウザーダ・ド・ブレット

美味しい食事 温かい心遣いも宿の魅力です

スクーターを満喫

《バック内容》

- 観光バス・車内サービス
- 宿泊ホテル(全食)
- 日本語添乗員
- 旅行保険

お1人様・ツインルーム

Rs 1100,00

Praca da Liberdade, 190 - CJ13 - Liberdade - São Paulo - SP | atendimento@serviceglobal.com.br

日本移民の為に 生涯を捧げた 苦勞の歴史 上塚周平の生涯

História do UETSUKA SHUHEI

ポ語版特別価格

Rs 25,00

ニッケイ新聞社 15周年記念

お問合せ・お申込は(11)3340-6060

“RYO MIZUNO” 移民事業の先鞭を付け ブラジルを こよなく愛した 水野龍の伝記

ポ語版特別価格

Rs 25,00

ポ語版に日本語を併記

ALFAINTER TURISMO

Visite nosso site: www.alfainter.com.br

ENDERÇO: Rua AMÉRICO DE CAMPOS, 47A - LIBERDADE - CEP.01506-010 - SÃO PAULO - SP

TEL: (11) 2187-8989(SP) | (03)5473-0541(TOKYO)

SAO PAULO: sao@alfainter.com.br | TOKYO: info@alfainter.co.jp

国際派日本人養成講座 伊勢雅臣

「国良し、民良し、子孫良し」の三方良し経済

高橋洋一「日本を救う最強の経済論」から

経済を成長させる「国良し」、失業率を下げる「民良し」、そして教育投資を通じた「子孫良し」の経済政策。

1. 経済政策の目的は「失業率を減らし雇用を確保すること」

偏向マスコミが「報道しない自由」を發揮し、野党も決して言及しないデータがある。失業率、失業者数の顕著な減少である。

2. 「失業率が高くなるだけで、社会はたちまち不安定化する」

「失業率が高くなるだけで、社会はたちまち不安定化する」と、氏はこれをまた簡潔明瞭に説明する。

3. 失業率を下げる方法

それでは、どうしたら失業率を下げる事ができるのか。高橋氏はこれを第二次大戦前の世界大恐慌から日本経済を救った高橋清の「高橋財政」によって説明している。

5. ヘリコプターマネーで狂乱インフレにならないか?

ヘリコプターマネーが生むもう一つの不安は、そのばらまきが狂乱インフレを引き起こさないか、ということである。

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心をもてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読まない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。

(ニッケイ新聞編集部)

76と低迷を続けている。「4」

財政政策と金融政策のフル活動により、日本経済をデフレから早く脱出させたという点で、世界的な経済学者ジョン・メイナード・ケインズより大膽な脱出策を実施した高橋清は、むしろ海外では高く評価されている。「1, P17」

高橋清がなぜ恐慌脱出に効果を上げたか、を分かりやすく説明する書が「ヘリコプターマネー」だ。たとえば、政府が国債を日銀に売って膨大な一円札をヘリコプターからばらまく。一円札を拾った人々は今まで我慢していた服を買ったり、外食をしたりするだろう。

4. 経済成長による税収増

国債を発行してお金をばらまくのでは、国の借金を増やすだけだ、という批判があるだろう。貯蓄を重んじ、借金を嫌う日本国民の質実な気風からは当然の反応である。

6. 経済成長率で世界最下位の「失われた20年」

「失われた20年」とは、平成3(1991)年から日本経済が20年以上にわたって低迷した時期をさす。この前後の世界の中で日本の名目経済成長率ランキングは以下の通りであった。

7. 日本経済に20年来的痛手を与えた日銀の失敗

通貨の供給量が増えれば物価が上がるといのは、部屋の暖房を入れば室温が上がるのと同じ、当然の現象である。だから、快適な室温を保つために暖房の強弱をコントロールするように、物価上昇を適正な範囲に収めるよう通貨供給量をコントロールすれば良い。

8. 「三方良し」の経済学

ヘリコプターマネーとは奇矯な書名だが、実際には金をどうばらまくか、に関しても工夫があるべきだろう。

資はもともとも経済的効果の高い投資である。そして教育投資の成果は将来の世代が享受するのであるから、その費用を国債の形で将来世代が負担するの筋が通っている。

国際派日本人養成講座 伊勢雅臣氏の厳選シリーズ第3弾! 世界が称賛する日本の経営 1冊1000円レアル 限定販売 残り30冊!

国際派日本人養成講座 発行人=伊勢雅臣(文責) Mail: ise\_masaomi@gmail.com



Defesa Nacional (17/11/2017)

# Premiê japonês promete ampliar capacidade de defesa do país

Em seu primeiro discurso no Parlamento desde que foi reeleito primeiro-ministro do Japão, Shinzo Abe disse que irá aumentar a capacidade de defesa do país em resposta à crescente ameaça da Coreia do Norte.

Abe apresentou suas políticas gerais na sessão plenária de sexta-feira. Nas palavras do premiê, “após a eleição da Câmara Baixa no mês pas-

sado, fui escolhido pelos membros do Parlamento para continuar a cumprir os importantes deveres do cargo de primeiro-ministro. Os resultados da eleição mostram a vontade da população de que o governo continue implementado suas políticas através de uma base política estável”.

Em referência à Coreia do Norte, Abe disse que a insegurança em volta do

Japão está nos níveis mais graves desde o fim da Segunda Guerra Mundial. Ele disse que junto da comunidade internacional, irá aumentar a pressão sobre Pyongyang para ajudar a resolver a questão de seu desenvolvimento nuclear e de mísseis bem como do sequestro de japoneses nos anos 70 e 80. Ainda nas palavras do premiê “conforme as provocações da Coreia do Norte

aumentam, irei tomar medidas concretas sob a forte aliança nipo-americana em preparação para todas as situações possíveis”.

Abe disse também que acredita firmemente que debates sobre a reforma constitucional terão continuidade conforme os membros do Parlamento tentam resolver questões difíceis.

Comentário (16/11/2017)

# Comentário — Renegociações do Nafta e impacto sobre empresas japonesas

Neste Comentário, Tamako Nishikawa, economista sênior do Instituto de Pesquisa Mizuho, fala sobre renegociações do Acordo de Livre-Comércio da América do Norte (Nafta) e o provável impacto sobre empresas japonesas.

“Em anos recentes, vêm crescendo os investimentos estrangeiros no México, país integrante do Nafta. Nos últimos cinco anos, mais que duplicou a quantidade de empresas japonesas no país — o total superou mil no ano passado. Muitas delas são fabricantes de autopeças. O México é importante para elas, que, utilizando as suas bases no país, exportam para outras nações da América do Norte.

São três os principais benefícios da atuação de empresas japonesas no México. Geograficamente, o país faz fronteira com os Estados Unidos; dispõe de mão de obra barata; e tem

mais de 40 parceiros de livre-comércio em várias partes do mundo, incluindo outros participantes do Nafta.

Em consequência das tratativas para renegociar o acordo, os Estados Unidos poderão se retirar do Nafta ou poderá ser elevado o limite aplicado à isenção tarifária. Haverá, então, dificuldades para exportações de veículos isentas de tarifas para outros países da América do Norte por empresas japonesas. Nesse caso, as fabricantes terão de refazer a sua cadeia de fornecedores ou realizar outras mudanças em sua estratégia de negócios.

No setor automotivo e em áreas relacionadas, a tarifa aduaneira de 2,5% que os Estados Unidos impõem normalmente sobre carros de passeio é relativamente baixa. Hoje nenhuma tarifa se aplica a carros no âmbito do Nafta. O peso mexicano desvalorizou-se em cerca de 8% desde

meados de agosto, quando começaram as renegociações do Acordo de Livre-Comércio da América do Norte. Mesmo que se passe a cobrar uma tarifa de 2,5% em consequência das tratativas, as fabricantes japonesas poderão compensar o custo extra.

Ainda que incluam os custos de uma drástica modificação da sua cadeia de fornecedores, algumas empresas japonesas poderão decidir pela continuidade das exportações a partir do México. No entanto, a tarifa imposta sobre caminhonetes é de 25%, o que viria a reduzir de maneira significativa a sua competitividade nas exportações. Assim, algumas empresas poderão decidir pela transferência das suas bases de produção para os Estados Unidos.

Originalmente o propósito de acordos de livre-comércio é tornar estável o ambiente de investimentos para promover trocas co-

merciais e investimentos. Os Estados Unidos exigem que o Nafta seja renovado de cinco em cinco anos. Essa renovação faria, porém, aumentar a incerteza de investimentos e prejudicaria a estabilidade das cadeias de fornecedores.

Opuseram-se a essas exigências não apenas firmas do Japão que atuam no México, como também empresas americanas. Não se sabe até que ponto o governo do presidente Donald Trump aceitará opiniões do mundo empresarial dos Estados Unidos e de que modo o chefe de governo vai lidar com o seu compromisso de campanha: aumentar a produção nacional e o emprego no país. Na melhor das hipóteses, o governo americano virá a ceder e alterar a sua atitude rígida.”

Sumô (16/11/2017)

# Grande campeão Hakuho fala sobre incidente envolvendo lutadores de sumô

O grande campeão de sumô, o yokozuna Hakuho, fez um pedido de desculpas por causa dos atos de violência cometidos pelo igualmente grande campeão Harumafuji contra o lutador da base Takanoiwa.

Hakuho e outro yokozuna, Kakuryu, estavam entre os lutadores oriundos da Mongólia que participavam de uma confraternização regada a bebidas alcoólicas na noite do dia 25 de outubro, quando ocorreu o incidente.

Em conversa com repórteres, na quinta-feira, Hakuho declarou que Harumafuji partiu para a violência contra Takanoiwa - algo que ele não deveria

ter feito. Segundo o grande campeão, Harumafuji não atingiu a vítima com uma garrafa de cerveja, conforme foi veiculado pela imprensa.

Pessoas familiarizadas com o incidente disseram que o agressor estava bêbado e advertiu Takanoiwa sobre seu comportamento perante lutadores mais velhos. A vítima continuou a mexer em seu smartphone, o que acabou enfurecendo Harumafuji. Devido aos ferimentos, Takanoiwa está fora do torneio com duração de 15 dias ora sendo realizado em Fukuoka, no oeste do Japão. De acordo com um relatório médico, o

lutador sofreu ferimentos, inclusive fratura craniana, que requerem duas semanas de tratamento.

Harumafuji também está fora do torneio desde terça-feira.



Estas notícias são produzidas pela NHK WORLD RÁDIO JAPÃO. [nhk.jp/portuguese](http://nhk.jp/portuguese)

**Aplicativos gratuitos da NHK WORLD**  
Rádio em português da NHK a qualquer hora em qualquer lugar!

**NHK WORLD RADIO JAPAN**

\*Para iOS e Android

Transmissão ao vivo em português e outros 16 idiomas

Clipes de áudio de últimos noticiários e programas

TV em inglês em 24 horas

**NHK WORLD TV**

\*Para iOS, Android e Amazon Fire

Coreia do Norte (17/11/2017)

# Trump deverá anunciar se inclui novamente Coreia do Norte na lista de países que patrocinam o terrorismo

O presidente dos Estados Unidos, Donald Trump, deverá decidir em breve se colocará novamente a Coreia do Norte na lista dos países que patrocinam o terrorismo.

Sarah Sanders, porta-voz da Casa Branca, disse, na quinta-feira, que o presidente vai anunciar sua decisão ainda na semana que vem.

A Coreia do Norte foi incluída, em 1988, na lista norte-americana de países que patrocinam o terrorismo, contudo foi removida em 2008 durante a administração de George W. Bush.

O governo de Trump se encontra sob pressão do Congresso para colocar

novamente a Coreia do Norte na lista negra, após o assassinato de Kim Jong Nan, meio irmão do líder norte-coreano Kim Jong Un, ocorrido na Malásia, no mês de fevereiro passado.

**PERFUMARIA TAKEO**

化粧品専門

たけお店

二九四一・九三三三

ニッケイ新聞出版、宮坂国人財団・アリアンサ日伯文化連盟協賛  
ブラジル版いよいよ販売開始!

日ポ生活会話ガイド

**o Jeitinho no Japão para os brasileiros**

ブラジル人のためのニッポンの裏技

ガイド

日本語とポルトガル語の勉強にすぐ便利  
面白くて分かりやすい  
画像付き日常生活の会話  
カテゴリー別、辞書付き  
日本の生活ガイドにも

前版大好評 全巻売り切れ!!

特別価格 R\$50

ご注文・お問い合わせ先  
詳しくはニッケイ新聞社 11-3340-6060 担当マリアまで  
郵便でのご注文の方は、●太陽堂 ●フォノマジまで

ニッケイ新聞社 11-3340-6060  
太陽堂 11-3208-6588  
フォノマジ内書店 11-3104-3399

# 第38回校内お話し発表会 「日本語でボクは変わった」 感極まって号泣する姿も



お話し大会の参加者、主宰者、来賓のみなさん

世。SNS(ソーシャルネットワークワークス)であふれ返っている。それに依存することなく、本心に信頼すべき友情関係を構築していくことの重要性を体験をもとに話した。

日本語の勉強を始め、3年のルジーネ・ジョオン君(14歳、非日系)は、同コンテストで審査員特別賞を受賞し、この日は「4年生・5年生の部」で出場。数年間も親にお願いしてようやく念願の日本語学校に入れたこと、授業や太鼓部や陸上部やソラン部の活動を通して学んだことや友達に対する思いを述べ、ブラジル学校が忙しくなるけれど、日本語学校をやめたくない」と力強く締めくくった。

「同コンテストで優勝した宗ゆきさん(15歳、三世)は「世界平和にはまず自分の周りを大切にすることが大事」と訴えた。特別発表として先の弁論大会で優勝した卒業生の奥田シンジ君(18歳、四世)が「もったいない」をテーマに「周りの目を気にして偽りの自分を演じ続けるような人も経験してきたが、おかげでボクは大きく変わった」と会場に訴えた。

「保護者の方々も知ってくださったのは、上級生3部の横飛英雄君(16歳、四世)。「12年通ってきた日本語学校で、通ってきた日本語教育の意義の再評価を促した。最後に感極まって言葉に言い、選手達の健闘に敬意を表し、父兄を始め、教師、手伝った方々に対して思いの言葉を述べ、大盛況のうちに終了した。入賞者は次の通り(各級一位のみ)。

【1級】ヒガシ・ヒカリ・イザベラ(バスターズ連盟)、「2級」シダ・マエダ・マテウス(バスターズそぼん連盟)、「3級」フジハラ・ナオミ・ジュリアネ・アルファベット校、「4級」シダ・マエダ・ラウラ(バスターズそぼん連盟)、「5級」イタカ・ミユ(平成そぼんアカデミー)、「6級」ドイ・エンリッケ・ガブ(バスターズそぼん連盟)。

【7級】サイトウ・タクミ(平成そぼんアカデミー)、「8級」ラウラ・パラダ・バ(9級)クボタ・カメイ・シンジ、ペドロ(ピオネイロ校)、「10級」ナカタニ・ヨナミ・ダン・アレックス(ONE)、「11級」オオニシ・ヨシテル・レ(12級)スキエ(13級)スギエダ・サチ・ミシエ(モミジ教室)、「13級」キムラ・タカオ・ラファエル(バスターズそぼん連盟)、「14級」マツシタ・タケダ・ケンゾウ・ニコラス(モミジ教室)、「15級」イケダ・アマノ・ガブリエラ(バスターズそぼん連盟)。

【16級】フタバオ(30)、「17級」内藤(38)、「18級」オ(40)、「19級」上(42)、「20級」中(44)、「21級」田(46)、「22級」レ(48)、「23級」山(50)、「24級」山(52)、「25級」山(54)、「26級」山(56)、「27級」山(58)、「28級」山(60)、「29級」山(62)、「30級」山(64)。

また、これは引き揚げに関した事ではなく、在満中にいつも行っていた事です。雑穀物を収穫して家に運んでから脱穀する時、キ(1946)年11月2日に九州の佐世保に着き、なつかしの故郷の土を踏んだのです。親戚の皆さんが大変喜んで迎えてくれた。それからすぐに、父母が渡満前に働いていた会社の社宅を借り、働き始めました。会社は叔父さんの家から、余り遠くありませんでした。引揚者には特別に衣類の配給もあつたりして、有り難く思つたことでした。2人の兄は私たちがより大分遅れてソ連から帰ってきた。

でもこの青年、いやまだ少年(小学6年生の次は満州では尋常高等小学校と言っていました)は、3年間の内には同じ教室で勉強をした生徒同士だったのです。私には全然似合わない人で、鶏のオンド(70)、「21級」山(72)、「22級」山(74)、「23級」山(76)、「24級」山(78)、「25級」山(80)、「26級」山(82)、「27級」山(84)、「28級」山(86)、「29級」山(88)、「30級」山(90)。

私結婚した当時は、主人の父母と主人の弟2人、妹1人が居りました。主人の父親もきれいな人でした。昔、上海で銀行員をしていました。主人が嫁いでから3年も経たないで、いつも薬を飲んでいました。私が嫁いでから3年も経たないで、いつも薬を飲んでいました。私が嫁いでから3年も経たないで、いつも薬を飲んでいました。

私の父は81歳で亡くなりましたが、長男と3つ下の長女を連れて、たまに顔を見せに行きました。とても良い子だと言つてほめてくれたのです。とても嬉しいことでした。主人の母親は95歳で亡くなりました。

波瀾終戦、そして引き揚げ、浜田米伊 (6)

ピラール・ド・スール日本語学校主催の「第38回校内お話し発表会」が10月12日、同文協会館で行われた。4歳の幼稚園児から16歳の生徒54人が参加した。

開会式では文協会長阿部勇吉氏、学校長南清氏が挨拶。「10年以上お話しをやっていくけど全然慣れない。いつも舞台の

上では震え、泣きそうになる」と数日前から緊張しているという吉岡香織さん(16歳)も生徒代表の挨拶を行った。

9月24日にサンパウロであった「第38回サントパウロスピーチコンテスト」第11回弁論大会の「スピーチBの部」で優勝した寺尾めぐみさん(15歳、三世)は「世界平和にはまず自分の周りを大切にすることが大事」と訴えた。

特別発表として先の弁論大会で優勝した卒業生の奥田シンジ君(18歳、四世)が「もったいない」をテーマに「周りの目を気にして偽りの自分を演じ続けるような人も経験してきたが、おかげでボクは大きく変わった」と会場に訴えた。

「保護者の方々も知ってくださったのは、上級生3部の横飛英雄君(16歳、四世)。「12年通ってきた日本語学校で、通ってきた日本語教育の意義の再評価を促した。最後に感極まって言葉に

言い、選手達の健闘に敬意を表し、父兄を始め、教師、手伝った方々に対して思いの言葉を述べ、大盛況のうちに終了した。入賞者は次の通り(各級一位のみ)。

【1級】ヒガシ・ヒカリ・イザベラ(バスターズ連盟)、「2級」シダ・マエダ・マテウス(バスターズそぼん連盟)、「3級」フジハラ・ナオミ・ジュリアネ・アルファベット校、「4級」シダ・マエダ・ラウラ(バスターズそぼん連盟)、「5級」イタカ・ミユ(平成そぼんアカデミー)、「6級」ドイ・エンリッケ・ガブ(バスターズそぼん連盟)。

【7級】サイトウ・タクミ(平成そぼんアカデミー)、「8級」ラウラ・パラダ・バ(9級)クボタ・カメイ・シンジ、ペドロ(ピオネイロ校)、「10級」ナカタニ・ヨナミ・ダン・アレックス(ONE)、「11級」オオニシ・ヨシテル・レ(12級)スキエ(13級)スギエダ・サチ・ミシエ(モミジ教室)、「13級」キムラ・タカオ・ラファエル(バスターズそぼん連盟)、「14級」マツシタ・タケダ・ケンゾウ・ニコラス(モミジ教室)、「15級」イケダ・アマノ・ガブリエラ(バスターズそぼん連盟)。

【16級】フタバオ(30)、「17級」内藤(38)、「18級」オ(40)、「19級」上(42)、「20級」中(44)、「21級」田(46)、「22級」レ(48)、「23級」山(50)、「24級」山(52)、「25級」山(54)、「26級」山(56)、「27級」山(58)、「28級」山(60)、「29級」山(62)、「30級」山(64)。

また、これは引き揚げに関した事ではなく、在満中にいつも行っていた事です。雑穀物を収穫して家に運んでから脱穀する時、キ(1946)年11月2日に九州の佐世保に着き、なつかしの故郷の土を踏んだのです。親戚の皆さんが大変喜んで迎えてくれた。それからすぐに、父母が渡満前に働いていた会社の社宅を借り、働き始めました。会社は叔父さんの家から、余り遠くありませんでした。引揚者には特別に衣類の配給もあつたりして、有り難く思つたことでした。2人の兄は私たちがより大分遅れてソ連から帰ってきた。

でもこの青年、いやまだ少年(小学6年生の次は満州では尋常高等小学校と言っていました)は、3年間の内には同じ教室で勉強をした生徒同士だったのです。私には全然似合わない人で、鶏のオンド(70)、「21級」山(72)、「22級」山(74)、「23級」山(76)、「24級」山(78)、「25級」山(80)、「26級」山(82)、「27級」山(84)、「28級」山(86)、「29級」山(88)、「30級」山(90)。

私結婚した当時は、主人の父母と主人の弟2人、妹1人が居りました。主人の父親もきれいな人でした。昔、上海で銀行員をしていました。主人が嫁いでから3年も経たないで、いつも薬を飲んでいました。私が嫁いでから3年も経たないで、いつも薬を飲んでいました。

私の父は81歳で亡くなりましたが、長男と3つ下の長女を連れて、たまに顔を見せに行きました。とても良い子だと言つてほめてくれたのです。とても嬉しいことでした。主人の母親は95歳で亡くなりました。

波瀾終戦、そして引き揚げ、浜田米伊 (6)

# ユタ、かみんちゆが講演 先祖供養の重要性語る

沖繩県人会(島袋栄喜会長)で15日午後、第2回座談会が開催された。沖繩の文化を伝える目的で始まった同座談会、今回は沖繩の民間霊媒師であるユタの大城マリナさん(三世、52)、大戸イザベルさん(二世、75)神職者(かみんちゆ、神人)である長浜ベアトリスさん(三世、49)が招か

れ、先祖供養の重要性や仕事内容についてボ語で講演した。講演後は質疑応答の時間が取られた。

座談会実行委員長の比嘉玉城マリナさんは今回ユタ、かみんちゆを座談会に招待した理由について9月に同イベントの初回を開催し、テーマを『沖繩文化 ウチナンチュウのタブー(禁忌)』にしたところ多数の来場

客を動員したことをふり返った。「第一回の座談会中、ユタの話題も出て多くの人が興味を示していた。沖繩の文化を理解するために、取り扱わなければならない話題だと思った」と語った。

大戸さんは今座談会の参加理由について「先祖供養の重要性を説きに来た」と説明。集まった約200人もの参加者に

座談会の様子

かみんちゆは「民間霊媒師」であり、

「母体」1位アナス、2位ロエステ、5位モジ、6位バラナ、7位ピラチニナ、8位パワリスタ、9位コペル・コチア(個人の部)男子、正徳マヨシ(90)、「砲丸投げ5m51」松島タクミ(85)、「槍投げ31m20」円盤投げ2

9m44、砲丸投げ9m06、ガナハ・ジリオ(50)、「高跳び1m45」義田アレキサンドレ(45)、「円盤投げ32m66」レベル・モリス(同)、「高跳び1m65」カシミ・セイチ(40)、「3000m9分22」800m2分11」レナト・ペレイラ(35)、「800m2分2」林田

ラ区のパス・ギマランエ競技場で開催された。9チーム450人の選手が参加し、日頃の練習の成果を競い合った。総合優勝は昨年引き続き2年連続でアナスが獲得した。入賞結果は次の通り。個人の部は選手ごとに新記録のみ掲載(敬称略、括弧内は年齢カテゴリー)。

「母体」1位アナス、2位ロエステ、5位モジ、6位バラナ、7位ピラチニナ、8位パワリスタ、9位コペル・コチア(個人の部)男子、正徳マヨシ(90)、「砲丸投げ5m51」松島タクミ(85)、「槍投げ31m20」円盤投げ2

9m44、砲丸投げ9m06、ガナハ・ジリオ(50)、「高跳び1m45」義田アレキサンドレ(45)、「円盤投げ32m66」レベル・モリス(同)、「高跳び1m65」カシミ・セイチ(40)、「3000m9分22」800m2分11」レナト・ペレイラ(35)、「800m2分2」林田

ラ区のパス・ギマランエ競技場で開催された。9チーム450人の選手が参加し、日頃の練習の成果を競い合った。総合優勝は昨年引き続き2年連続でアナスが獲得した。入賞結果は次の通り。個人の部は選手ごとに新記録のみ掲載(敬称略、括弧内は年齢カテゴリー)。

「母体」1位アナス、2位ロエステ、5位モジ、6位バラナ、7位ピラチニナ、8位パワリスタ、9位コペル・コチア(個人の部)男子、正徳マヨシ(90)、「砲丸投げ5m51」松島タクミ(85)、「槍投げ31m20」円盤投げ2

9m44、砲丸投げ9m06、ガナハ・ジリオ(50)、「高跳び1m45」義田アレキサンドレ(45)、「円盤投げ32m66」レベル・モリス(同)、「高跳び1m65」カシミ・セイチ(40)、「3000m9分22」800m2分11」レナト・ペレイラ(35)、「800m2分2」林田

先祖供養の重要性や仕事内容についてボ語で講演した。講演後は質疑応答の時間が取られた。

座談会実行委員長の比嘉玉城マリナさんは今回ユタ、かみんちゆを座談会に招待した理由について9月に同イベントの初回を開催し、テーマを『沖繩文化 ウチナンチュウのタブー(禁忌)』にしたところ多数の来場

客を動員したことをふり返った。「第一回の座談会中、ユタの話題も出て多くの人が興味を示していた。沖繩の文化を理解するために、取り扱わなければならない話題だと思った」と語った。

大戸さんは今座談会の参加理由について「先祖供養の重要性を説きに来た」と説明。集まった約200人もの参加者に

座談会の様子

かみんちゆは「民間霊媒師」であり、

「母体」1位アナス、2位ロエステ、5位モジ、6位バラナ、7位ピラチニナ、8位パワリスタ、9位コペル・コチア(個人の部)男子、正徳マヨシ(90)、「砲丸投げ5m51」松島タクミ(85)、「槍投げ31m20」円盤投げ2

9m44、砲丸投げ9m06、ガナハ・ジリオ(50)、「高跳び1m45」義田アレキサンドレ(45)、「円盤投げ32m66」レベル・モリス(同)、「高跳び1m65」カシミ・セイチ(40)、「3000m9分22」800m2分11」レナト・ペレイラ(35)、「800m2分2」林田

ラ区のパス・ギマランエ競技場で開催された。9チーム450人の選手が参加し、日頃の練習の成果を競い合った。総合優勝は昨年引き続き2年連続でアナスが獲得した。入賞結果は次の通り。個人の部は選手ごとに新記録のみ掲載(敬称略、括弧内は年齢カテゴリー)。

「母体」1位アナス、2位ロエステ、5位モジ、6位バラナ、7位ピラチニナ、8位パワリスタ、9位コペル・コチア(個人の部)男子、正徳マヨシ(90)、「砲丸投げ5m51」松島タクミ(85)、「槍投げ31m20」円盤投げ2

にほん こうりゅうきょうかい しゅうねん

# ブラジル日本交流協会10周年

## 日伯に貢献する人材を育成

### 日本の若者が異文化で成長

ブラジル日本交流協会(神戸保会長)は、研修事業の拠点として10周年を記念する式典を11日、聖市の三重県人会館で開催した。同協会は日伯の懸け橋となる人材の育成をモットーに、日本の青少年をブラジルの企業や団体に派遣し、約一年間の研修を行なう。多くの日本の若者に、異なる環境の中でも成長する機会を与えてきた。



現役研修生とOB・OG

当初はボ語が分からず、会話に苦労した。「互いにどういふ人間か分からないから警戒し合っていた。それに彼らのテンションの高さについていけなかった」と振り返る。作業内容を把握できず、何をすれば分からないと「佐藤はコウモリみたいなじつとしていて、小突かれることも、悔しくて悔しくて、他の従業員に劣らたくないという思いで一生懸命、研修に取り組んだ。3カ月くらい経つと作業に慣れてきて、段々と周りに認められた」と話す。

## 小桜舞子来伯、公演19日

### 「より一体感のある舞台に」

今週日曜日に公演を控えた演歌歌手・小桜舞子さんが16日、聖市のマツバラホテルで記者会見を開き、公演に向けた意気込みを語った。小桜さんは昨年11月に当地での初公演を成功させており、2年連続の公演となったことについて、「自分ごどんな人間だ。自分がどんな人間だ。自分を射殺し、妻に重傷を負わせた罪でそれぞれ23年7カ月、22年11カ月の禁錮刑の一審判決を受けた。州裁のサイトの情状によれば、その後原告・被告とも控訴せず、一審判決が維持され、刑の執行に移行した」とみられる。



「ブラジル大好き」と話す小桜さん

「こんななにくに再公演が実現するとは思っていません。私はブラジルが大好き。本当に嬉しい」と笑顔で語る。小桜さんは、NHK-BSの勝ち抜き歌謡選手権で優勝後、数々の大会で実績を重ね、01年にNHK秋田放送局70周年記念曲「恋する城下町」でデビュー。秋田県では15週連続でCD、カセット販売売上1位を獲得した。「昨年の公演でブラジルの皆さんがすごく盛り上がり、上がってきたのが印象的だった。今回は掛け声なども交えて、より一体感のある公演にしたい」と意気込んだ。演歌界にも派遣できるようにしたい」と展望した。

## 葛飾区射殺事件で訴訟終結

### 20年超禁固、国外犯処罰6件目

2001年に東京都葛飾区で無職の日本人男性を射殺し、その後帰国して亡れたとされる日系人2人について、日本政府が国外犯処罰を請求し、当地で殺人罪などで有罪判決が出た事件で、聖市のパテカセキ労働者のマラ・フンダ刑事裁判所は9月5日付で訴訟が終了したことを公表している。この事件は、2016年12月、同裁判所で開かれた陪審の広報担当者も確認した。

この事件は、2016年12月、同裁判所で開かれた陪審の広報担当者も確認した。この事件は、2016年12月、同裁判所で開かれた陪審の広報担当者も確認した。この事件は、2016年12月、同裁判所で開かれた陪審の広報担当者も確認した。

この事件は、2016年12月、同裁判所で開かれた陪審の広報担当者も確認した。この事件は、2016年12月、同裁判所で開かれた陪審の広報担当者も確認した。

この事件は、2016年12月、同裁判所で開かれた陪審の広報担当者も確認した。この事件は、2016年12月、同裁判所で開かれた陪審の広報担当者も確認した。

## 小池シェフの本格お節

### 元旦はブルーツリーで

ブルーツリー・プレミアム・パウリスタ (Rua Am. Paolista, 707 = Peixinho Comida, Topy Sao Paulo) は恒例となった「お節料理」のイベントを来年1月1日13時から開催する。今年も小池信シエフが腕を振るって本格的なお節料理を提供する。国内のホテルで元旦お節料理を提供するのと同ホテルのみ。毎年このようにマナウスやリオなど遠方からの客もいるという。お節料理の他にも国際料理ビュッフェも堪能できる。案内に来社した内村明美さんは、「今年のお節は特別に、小池シエフが厳選した食材を使い、より一層、本物の日本の味が楽しめます」と話した。料金は今年30日まで。

**奈良県人会**  
Assoc. Cult. e Rec. NARA Kenjinkai do Brasil  
Endereço: Av. Lins de Vasconcelos, 3390 Vila Mariana - CEP: 04112-002  
TEL: (11) 4288-0555  
\*電話番号が変わっています

**在ブラジル日本大使館**  
【領事班クラーク募集】  
11月30日までに日本語で履歴書を送付下さい。  
条件: 原則、学士以上、十分な日本語及びポルトガル語能力也。  
詳細は当館サイトを参照下さい。http://www.br.emb-japan.sp.jp/nihongo/index.html

**貸 海の家 ☆☆☆☆**  
**Aluga-se, Casa de Praia ☆☆☆☆**  
P. São Pedro Guarujá - São Paulo  
◎マージャン大会 (Jogo de Baralho)  
◎役員会議 (Reunião de Diretoria)  
◎8~10名 (8~10 Pessoas)  
◎プライベートビーチ (Praia Particular)  
◎原始林 (Mata Virgem)  
Venha visitar! Vale a pena verificar!!  
TEL: (11) 98402-6743 A/C Sofia  
E-mail: sofia@newjapan.com.br

**サンパウロ日伯援護協会**  
リベルダーデ医療センター  
日本語で対応します  
受付時間 月~金 07:00~19:00  
土 07:00~13:00  
人間ドック受付 月~金 07:00~16:00  
Adesão de novos associados  
新会員募集: (11) 3274-6523  
お問合せ: (11) 3274-6555  
ご予約 (内科以外の各専門科): (11) 3274-6508  
人間ドック: (11) 3274-6495  
歯科: (11) 3274-6501

**サンパウロ日伯援護協会**  
日伯友好病院  
最新設備と専門スタッフを備えた  
日伯友好病院は真心込めた医療を  
あなたへお届けします  
24時間受付  
内科・外科・小児科  
整形外科・心臓外科 他  
日本語で対応します  
各種健康保険取り  
扱っています  
(日本の保健各種)  
日伯友好病院行きバスのご案内  
地下鉄Tatuapé駅発172X-10  
地下鉄Santana駅発271M-10  
Dom Pedro II公園発272N-10  
Tel.: (11) 2633-2200  
Rua Pistoia, 100 - Pq. Novo Mundo - São Paulo  
www.hospitalnipo.org.br

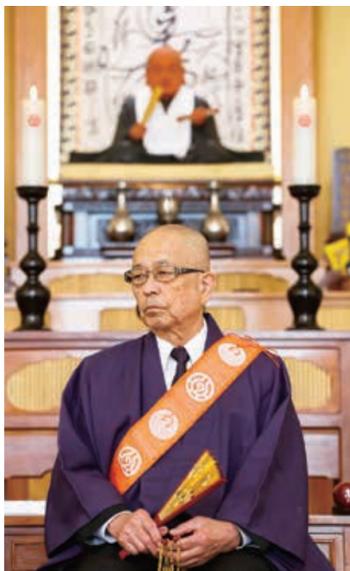
PERFUMARIA TAKEO  
たけお店  
化粧品専門  
病気平癒・健康祈願  
**南米神宮**  
R. Estado de Israel, 76  
Vl. Clementino - S. Paulo - SP  
Fone: (11) 5575-4783  
www.templaxtoista.org.br

# 本門 佛立宗 開祖・日扇聖人誕生200年

## 佛立第26世講有が来伯

### 全伯8カ寺と佛立聖地巡教

本門佛立宗開祖、日扇聖人（長松清風）ご誕生から200年。日本から佛立第26世講有（高須日良上人）と同参者17人が先月27日から今日にかけて慶讃法要に訪伯し、ブラジル本門佛立宗（高崎日現教区長）の8カ寺と佛立聖地を巡教した。10日間その道程はおおよそ3千キロにもおよんだ。中央寺院日教寺及びリンス大宣寺以外の殆どの寺院については、おおよそ40年振りとなる講有の参詣とあつて、各地で盛大な歓迎を受けた。



8カ寺と佛立聖地を巡教した講有



200th Anniversary  
開祖・日扇聖人誕生200年記念

当地における本門佛立宗の布教は、笠戸丸移民として渡伯した茨木日水上人（茨木友次郎）とともに始まった。笠戸丸移民を計画した皇國植民会社社長の水野龍が信者だった同宗清雄寺の日教上人を通じて、茨城日水上人が渡伯した。ズモン耕地から各地を経て、36年に聖州グアテマラに上り、今後は全国11カ寺の

うち、モジ・ダス・クルーゼス隆昌寺、タウバテ立寺、中央寺院日教寺、クリチバ如蓮寺、ロンドンリナ本法寺、サランドリナ本法寺、プレジデンス・プルテンチ日扇寺、リンス大宣寺の8カ寺とタピラ佛立聖地を巡教した。また、御教歌要集の編者でもある佐藤雅江日教寺事務局長に対し、積年の功績を称えて講有から功労者表彰が授けられた。また、著名な芸術家である久保カロス氏による講有の肖像画が高崎日現教区長から講有に贈呈された。

同寺は信者の心の拠り所となっており、敷地内には慰霊碑と茨木日水資料館を有する。今年はグアテマラ市における移転前の同寺創建から80年を数え、講有ら二行を迎えて祝いの席となった。最終日となった6日に

は、イビラプエラ公園内の日本移民開拓先没者慰霊碑に参詣し、献花。移民の父である故水野龍の墓を訪れて焼香し、クリチバ市からは三男の龍が更に努力すれば、必ず本

三郎さんも出席した。巡教を終えて、講有は「伯国へ来て、50年前の日本の信心を感じることが出来た」と振り返り、「皆様が更に努力すれば、必ず本

門佛立宗が盛んになることは間違いない。これから高崎日現教区長は「3年後には、伯仏教初祖茨木日水上人の没50年を迎える。それに向けて、全国各地に本門佛立宗が伝播するよう努力を続けていきたい」と語った。

Palavras do Arcebispo  
**Takassaky Nitiguen**  
Arigatougozaimassu.  
Há mais de 2600 anos, Buda Shakamuni previu em seus ensinamentos que, no quinto quingentésimo ano após o seu ocultamento, viveríamos uma era de decadência, a chamada Era Mappou. Agora, mais do que nunca, a consciência da paz deve ser semeada, cultivada e mantida por todos nós através da compaixão, mesmo em meio às contradições do mundo.

No momento em que vivemos, neste mundo que nos coloca diante de tantos fatos trágicos acontecidos nos últimos tempos, nós, budistas, devemos ser diligentes. Quando o senso comum se limita a responder atitudes negativas com mais atitudes negativas, devemos assumir a posição de inconformismo e dar uma resposta audaciosa em prol da paz. Somente dessa forma conseguiremos edificar a Terra Pura pregada por Buda. E é isso que a oração Sagrada Namuyouhoureguekyou representa. Sem esta verdade, sem este objetivo de vida, tudo de nada valeria.

Em prol do Darma, devemos manter o espírito de compaixão. Em nossos lares, nos

Templos, no trabalho, nas redes sociais, onde quer que estejamos presentes, devemos ser uma boa influência para a comunidade. Esta, sim, é uma atitude indispensável, revolucionária e primordial.  
O caminho que percorremos há de ser longo, mas necessário. Devemos fazê-lo movidos pela esperança, e com a determinação tão forte que não abra margem para nenhuma divergência.

Nesse sentido, esperamos que a vinda do 26º Sumo Pontífice tenha proporcionado o incentivo à lapidação espiritual de todos, para que a retidão dos ensinamentos seja mantida.  
Com a volta do 26º Sumo Pontífice e caravana com saúde e segurança ao Japão, encerram-se as nossas comemorações do Bicentário de Nascimento do fundador da Honmon Butsuryu Shu. Aproveito a oportunidade para agradecer os Bispos, sacerdotes, os presidentes e diretores dos Templos, a comissão, e a todos os fiéis que se dedicaram ao máximo para fazer o melhor para recebê-los.  
Por fim, rogo para que todos se dediquem nas atividades religiosas com muita saúde para que, em 2020, possamos celebrar as homenagens de 50º Culto Póstumo do Mestre Ibaragui Nissui Shounin, dando continuidade em sua nobre missão de expandir o Darma Sagrado.  
Arigatougozaimassu.  
16º ARCEBISPO DA HONMON BUTSURYU-SHU DO BRASIL  
**Nitigen Takassaky**

『日ポ・佛立御教歌要集』発刊  
200年がかりで翻訳出版  
28日、最初に訪問したモジ隆昌寺では、講有ら二行の歓迎式が執り行われ、およそ600人の信者が参集。式典に際しては、日扇聖人ご誕生200年記念事業の環として「日ポ・佛立御教歌要集（コレイア教区・佐藤雅江共編）の発刊式が行われ、記念すべき冊子が刊行された。

目が講有に贈呈された。御教歌要集は、法華経を中心とした佛立和歌集で1772首を収録。四行の詩文形式で訳文がつけられ、韻や音を踏まえつつ、含意が削がれないよう逐語訳式に則して翻訳された。

められ、初版2千冊が刊行された。翻訳班も設立され、およそ20年係りの翻訳作業となった。コレイア教区は「非常に完成度が高いものが出来上がった」と頷き、当地における本門佛立宗の布教への貢献が期待される。序文には佛立第26世講有高須日良上人、跋文には高崎日現教区長による寄稿文が収められた。

3住職供養、後継者続々  
悲劇の事故死から1年  
10月29日、中央寺院日教寺では、日蓮大菩薩のお会式が奉修された。昨年末に交通事故で悲劇的な死を遂げた故フレイレイ伯（40）、故モライス教竜（35）、故オリレイラ教正（44）の3人が、一周忌法要に参集した。

その後、パラナ州ロンドリーナ出身で二十歳を迎えたカマルゴ妙清師の得度式が行われた。ブラジル本門佛立宗では、女性教務として4人目、事故死したパラナ州ロンドリーナ本法寺の故フレイレイ伯は住職の棺が本堂に納められる際、御題目を唱える妙清師を横切ったその刹那、尼僧となる決意を固めたという。若手幹部を一度に三人も失うという大きな失意のなか、亡くなった住職3人の供養のために精進する後継者が後を断たず、中央寺院日教寺の吉川妙善師もこの一年のうちに女性教務となつた一人だ。

タピライ佛立聖地を訪問  
植田日事上人が法要  
今年1日には、聖州タピライ市の大西洋岸森林の自然保護区に位置する佛立聖地を訪問。本門佛立宗を当地に伝えた茨木日水上人の悲願で、寺や福祉・教育施設を併設する佛立聖地の建設を目

指し、その嚆矢として15年に宝塔が建立された。その中央には、戦後70年を記念した広島市と国際連合公認の「平和の鐘」を抱く。原爆犠牲者を偲び、原爆投下時間に合わせて8

月5日に行ってきた平和パレードは3回目数を数え、今年は約600人が参加。当日には、植田日事上人の法要の後、同パレードが同市の公式行事として制定されたことが発表された。

歓迎式では隆昌寺の子供コーラスで迎えられた

フレイレイ伯は住職の遺志を継ぎ断髪したカマルゴ妙清師



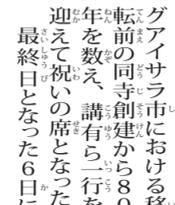
モジ・ダス・クルーゼス隆昌寺で信者600人が歓迎



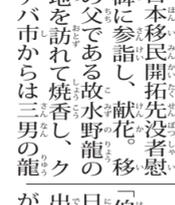
創建から80年を迎えた大宣寺で行われた法要



久保カロス画家による講有の肖像画が贈呈された



日扇聖人ご誕生二百年を祝して飾り付けられた中央寺院



奇遇にも29日に誕生日を迎えた講有